

# NEWS RELEASE

2009年5月19日

(財)損害保険事業総合研究所

損保総研レポート第 87 号を発刊し、以下の 2 つのレポートを掲載しました

- ◆ 金融危機と金融・保険グループ規制の動向
- ◆ PAYD（実走行距離連動型自動車保険）  
ー米国カリフォルニア州の導入を巡る議論を中心としてー

財団法人 損害保険事業総合研究所では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。今号（第 87 号）では、次のとおり研究員 2 名のレポートを掲載するとともに、他に海外の金融・保険市場の動向等を紹介しています。

<レポート>

## ◆ 『金融危機と金融・保険グループ規制の動向』

(金田 幸二 主席研究員)

サブプライム・ローン問題を契機に、欧米の主要な金融機関は軒並み経営危機に陥り、特に AIG の経営危機は、多様な金融事業を営む金融コングロマリット等のグループ・リスク管理やソルベンシー等の問題をクローズ・アップさせました。

本稿では、金融危機の経緯を概観するとともに、金融コングロマリットの特徴および問題点ならびに規制の現状等を紹介します。その上で、国際的な金融監督機関等の動向および対応、特に金融コングロマリットおよび金融・保険グループの規制・監督に係る国際的な動向を説明しています。

## ◆ 『PAYD（実走行距離連動型自動車保険）

ー米国カリフォルニア州の導入を巡る議論を中心としてー』

(佐藤 智行 主任研究員)

2008 年の春頃から、欧米保険業界における一部の個人向け自動車保険分野で、実走行距離に基づいて保険料を支払う PAYD を巡る動きが活発化しています。例えば、米国カリフォルニア州では 2008 年 8 月に PAYD に関する行政提案がなされ、またイギリスではある大手保険会社が PAYD の取扱いを中止しました。いずれも保険会社が被保険者の走行距離を計測することのプライバシーが大きな問題となっています。

本レポートは、それら問題の背景や事情を見ていくことで、同商品への理解を深めるうえでの参考となるように説明しています。

<海外動向その他>

- ◆ 欧州・米国・アジアの金融・保険市場における動向
- ◆ 定期刊行物レビュー（保険、銀行、証券）

購読ご希望の方には、損保総研レポート第 87 号 (A4 判 80 ページ) を実費 (税込 1,000 円+送料) で頒布します。

当研究所ホームページ (<http://www.sonposoken.or.jp/>) 「調査研究」 → 「損保総研レポート」の項経由で、お申込みください。

・本件に関するお問い合わせ先  
〒101-8335 千代田区神田淡路町 2 - 9  
財団法人 損害保険事業総合研究所  
研究部 金田 幸二 (TEL : 03 - 3255 - 1761)

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

## ご 参 考

### 損保総研レポート第 87 号 目次

○金融危機と金融・保険グループ規制の動向  
(執筆者 主席研究員 金田 幸二)

《目次》

1. はじめに
2. 金融危機の経緯と動向
3. 金融コングロマリットの特徴と問題点
4. 金融・保険グループに関する規制
5. 金融危機を巡る国際的な動向と議論
6. 金融危機を契機とした金融・保険グループ規制に係る議論
7. おわりに

○PAYD (実走行距離連動型自動車保険)  
—米国カリフォルニア州の導入を巡る議論を中心として—  
(執筆者 主任研究員 佐藤 智行)

《目次》

1. はじめに
2. ペイド (PAYD) とは
3. PAYD に対する米国保険会社経営の意識
4. 米国カリフォルニア州における PAYD 導入を巡る議論
5. 米国における PAYD の販売・実施状況
6. イギリスにおける PAYD の販売・実施状況
7. その他国々の販売・実施の状況
8. おわりに